

第362回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 令和元年10月24日(木) 午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 7人 出席委員 6人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	大久保 千春	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
取締役放送本部長兼編成局長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
報道制作局制作部長	竹野 和治
番組プロデューサー	道場 拓哉
事務局	安部 貴俊 小野塚由起子
	吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

夕方ワイド新潟一番 ガタトピ

「24時間テレビにいがた 多宝山-弥彦山縦走企画

～足にハンデがある少年の挑戦～」

[放送：令和元年8月26日(月)[15：48～16：50]

(説明：番組プロデューサー 道場 拓哉)

2) 会社報告

①9月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「夕方ワイド新潟一番 ガタトピ 24時間テレビにいがた 多宝山-弥彦山縦走企画 ～足にハンデがある少年の挑戦～」は、24時間テレビにいがたの企画として放送した、脳性麻痺で足が不自由な少年が、岩室神社から多宝山そこから縦走して弥彦山まで登山する様子を翌日に総集編として、準備から追いかけたものとなります。24時間テレビの中では道中の様子があまり伝えきれなかったこともあり、生放送では、紹介できなかった道中での彼の明るさやがんばりを伝えたい。とのテーマで制作・放送した。という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 本人の明るさ、逞しさ、お母さんの賢さ、良い家族、良いスタッフに支えられている感じがでていて、気持ちよく見れた。
- 本人は大変だったと思うが、一方でなぜ彼のことを取り上げた

か？本人の希望があったのか？彼の普段の様子などをもう少し伝えた方が良かったと思う。

- 16歳の少年の気持ちは共感できた。
- 本人・家族達の思いをもっと伝えるべきだったと思う。
- 本人とバックアップするスタッフのやりとりも興味深かった。
- 障がい特別なものと考えずに彼を育てたお母さんの姿に感銘を受けた。
- こういう番組は伝え方が難しいし、感動ポルノと批判されることはあるが、「障がい」に限らず色々な困難に立ち向かう姿は伝える価値のあるものだと思う。
- 日常からかけ離れた姿を演出しすぎるのは良くないが、今回は本人の素の姿がみえる映像があったので、共感できた。
- 一高校生のチャレンジとして、胡散臭さがなく自然に見れた。
- 障がいに対する理解を深めなかったところが逆に良かった。
- 挑戦の全記録であれば、もっと準備かのストーリー、動機、将来の夢などをもっと丁寧に伝えた方が良かった。
- 他の家族の情報も視聴者としては欲しいと思った。
- 「優しくしてもらえることが当たり前のことではないので、今回の挑戦を応援した」というお母さんの考え方に強い方だなと思った。
- どういうトーンでこういう番組制作したのか制作スタッフは非常に苦勞したのだらうとおもった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

9月…… 111件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(令和元年9月30日)から、昨日(令和元年10月23日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回第361回審議会では、「新潟ケンミングルメ 天下盗りプロジェクト」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第362回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第361回番組審議会議事録
- ・9月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(10/13号)

以上